

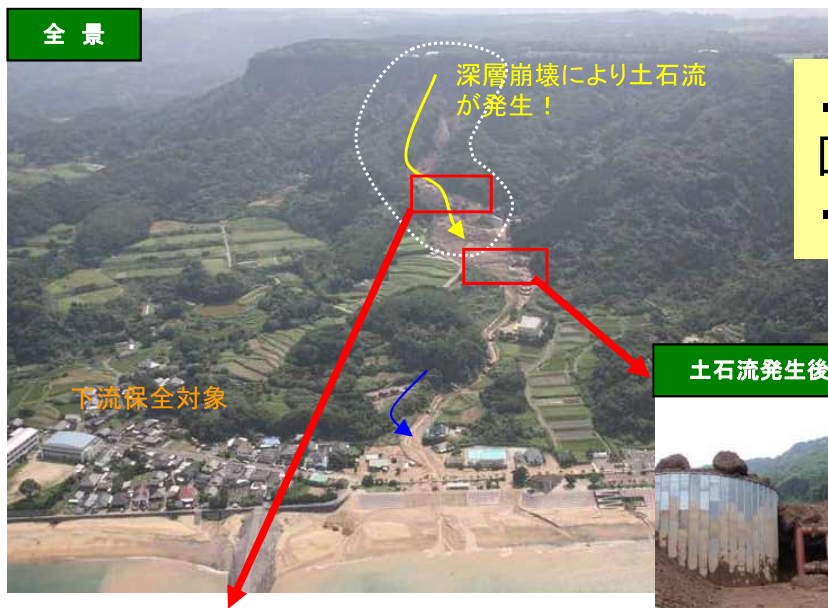
# 【砂防堰堤の効果事例】

## 船石川

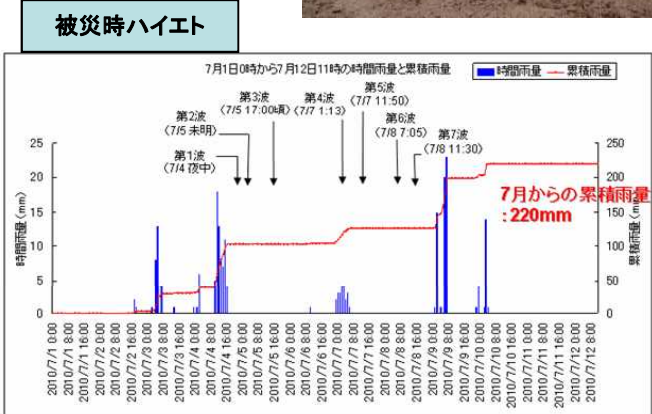
## (鹿児島県南大隅町船石川)

みなみおおすみ ふないしがわ

全景



- ・平成22年7月4日から8日にかけて、深層崩壊に伴う土石流が7回発生し、想定を上回る約101,000m<sup>3</sup>の土石等が流下
- ・既設砂防施設により約91,000m<sup>3</sup>の土石等を捕捉し被害を軽減



### シミュレーションによる施設効果の検証

図は、第3波、第7波において、砂防堰堤が無かった場合の氾濫範囲と実際の氾濫範囲をそれぞれ比較した。

図から、避難勧告発令前の第3波まで、砂防堰堤が下流の氾濫を防いでいることが分かる。また、その後、4波に及ぶ土石流が発生していますが、最終的な氾濫範囲も青線の範囲に抑制されたことが分かる。

これらの検証結果から、砂防堰堤が土石流を捕捉したことにより、人命損失が防がれ、下流の氾濫被害が軽減され、人命・財産が守られたことが確認された。

図1 第3波 (H22.7.5 17:00)

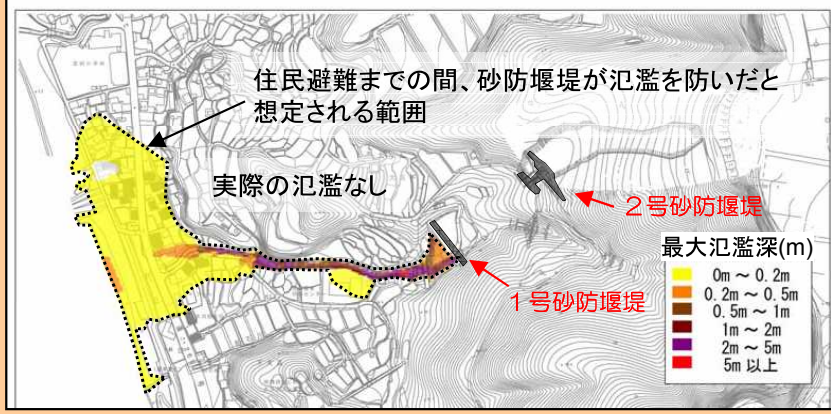
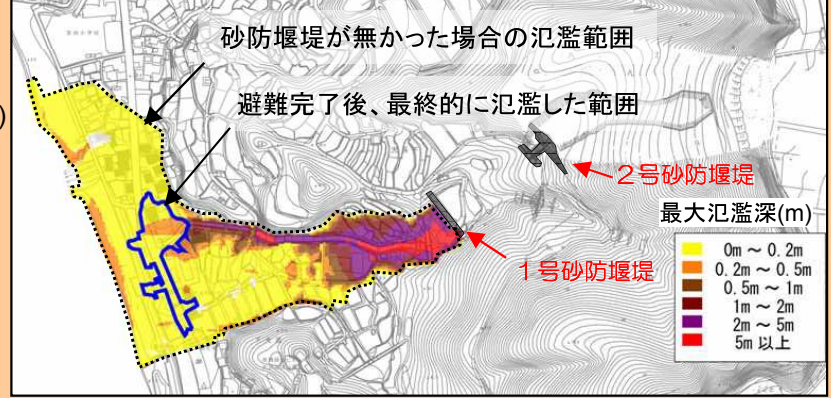


図2 第7波 (H22.7.8 11:30)



# 【砂防堰堤の効果事例】

# 猪ノ谷川（京都府京都市左京区）

平成22年7月13日～15日の梅雨前線豪雨により発生した土石流から住宅への被害を防止



土石流の捕捉状況  
〈平成22年7月16日撮影〉



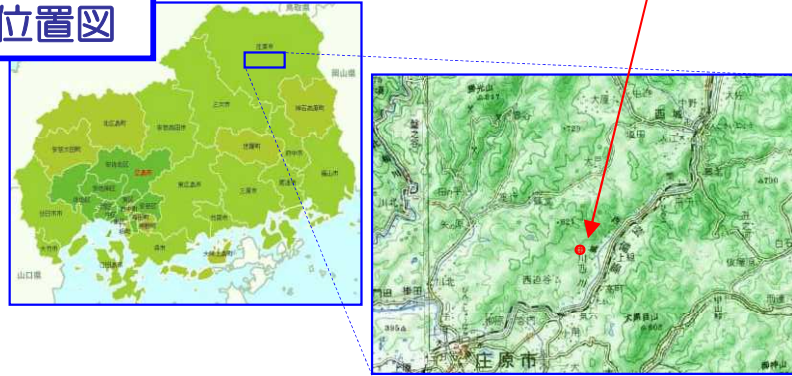
# 【砂防堰堤の効果事例】

# 黒坪川（広島県庄原市川西町）

黒坪川（堰堤竣工：昭和54年1月）

土石流発生前状況（H18.2）

位置図



航空写真



梅雨前線豪雨後（H22.7.22）（最大時間雨量72mm）



堆積部から堰堤方向



堆積部から上流方向



# 【砂防堰堤の効果事例】

たにぐちかわ ふくおか さわら わきやま  
谷口川（福岡県福岡市早良区大字脇山）

平成22年7月14日に発生した土石流・流木を捕捉 時間雨量:73mmを記録



土砂・流木捕捉状況①



土砂・流木捕捉状況②



# 【砂防堰堤の効果事例】

## よふたがわ 与蓋川（鹿児島県奄美市名瀬浦上） なげうらがみ

- ・平成22年10月20日に、山腹崩壊に伴う土石流が発生し約9千m<sup>3</sup>の土石等が流下
- ・既設の砂防堰堤により約6千m<sup>3</sup>の土石等を捕捉し、小学校や幼稚園などへの被害を防止

